

リスク管理

経済成長が力強さを取り戻してきた現在、改めて格差是正が問題になってきている。特に、大都市圏と地方との地域格差は、これからの都市や地域における安全・安心、教育・福祉などの健全な発展を阻害するリスク要因になってきた。

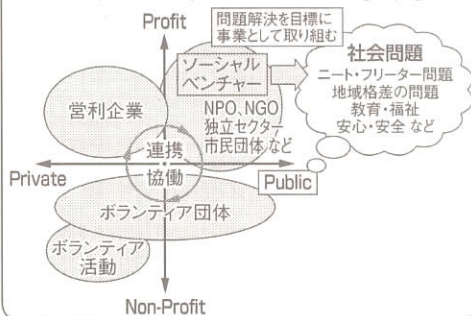
◇ 大都市圏でのヒト、モノ、カネ、情報の集積は新たな集積を呼び込みながら成長を続ける一方で、地方は財政難や人材不足に悩まされ、夕張市にみる財政破綻など地方の迷走が続き、地域格差拡大のリスクが懸念されている。これらの懸念は、ローカル鉄道の廃止に伴う地域の荒廃、人口減少によるシャッター商店街の増大など、地域に山積する解決すべき課題の対処には財源（カネ）

リスクマネジメント

ABC

地域格差是正

ソーシャルアントレプレナーの事業手法



な地域格差拡大リスクが顕在化しやすい。

日本型経営のDNAとして受け継がれているからこそ、現在企業の公益性が目覚めるのであろう。

一方、ボランティア立ち上げた組織がソーシャルベンチャーと呼ばれるNPOや株式会社といった形態で存在している。例えば、高齢・介護家庭への配食サービスなどであり、「利益を出しながら」社会問題解決を行っている。

しかし、その目標が、一定水準達成されと企業は「公益性」を求め、環境問題や教育問題といった社会問題解決を目指す。最近指す活動を始める。最近では、CSR（社会貢献活動）として普及し始めている。このような、公益的な考え方は、渋沢栄一の説いた「経済道徳合一説」や松下幸之助の説いた「企業は社会の公器」などに代表される古きよき日本の経営哲学であり、民間営利企業にも

が必要であり、経済活動の主役である民間企業の集積度が低い地方部では、この財源不足のために地域課題の解決が出来ないというものである。

確かに、民間営利企業の目標が利潤の追求だけであれば、企業資源の中央一極集中に陥り、中央と地方との人的・財政的

地域格差拡大リスクを防ぐ一つの方策として、地域に住む一人ひとりがCSRに熱心な企業やサービスを積極的に支援するとともに、図に示すように、社会起業家（ソ

シャールアントレプレナー）の事業手法を参考に、従来のNPOなどをソーシャルベンチャー

化していくことだと考えられる。

（日本総合研究所）

生かせ社会企業家精神